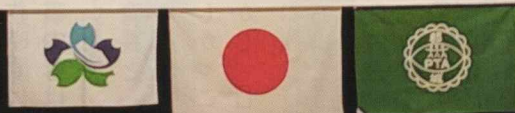


りなぐ

編集・発行／都城市PTA連絡協議会
都城市姪城町7街区8号
TEL.0986-24-5312
FAX.0986-24-2812
E-mail:mmpta@bz03.plala.or.jp

都城市PTA研究大会



都城市立東小学校 合唱部

令和5年1月21日(土)に都城市PTA研究大会アトラクションにて、「ほたるこい」「いのちの歌」「きっとほんとはみんな」「ハナミズキ」の4曲を披露してくれました。澄みきった美しい歌声でとても素晴らしい合唱でした。



都城市の教育サーバントリーダーに

※サーバントリーダーとは、メンバーに対して適切なフォローを行い、力を最大限発揮できるように導くリーダーのこと。先頭に立って引っ張る支配型のリーダーではなく、メンバーが自主的に仕事ができるように配慮するリーダー。

毎年、都城市PTA連絡協議会が開催する「教育懇談会」で都城の教育の現状やこれからの方向性について、貴重なお話をしてくださる児玉教育長にインタビューしてきました。

教育長のお仕事の内容や、都城の子どもたちや保護者の方々への思いをお聞きすることができました。

教育長のお仕事

勤務時間は、基本的には8時30分～17時15分で市職員と同じです。仕事内容は多岐に渡り、「議会」「教育委員会」「庁議」「協議」「相談」に対して様々な対応をしています。

教育長として一番心を砕いていることは、「思いを馳せること」「多くの人々の心の荷を背負えるようにすること」です。

少しかっこよく言うと、「都城市の教育サーバントリーダーになること」です。しかし、日々、様々な事がありますから、時には神頼みをすることもあります(笑)。

都城の教育で優れているところ

一つは、コミュニティ・スクール制度です。子どもたちの地域参画の割合は、全国・県平均よりも格段に高い値を示しています。

二つ目は、学力向上のためのICTを活用した新しい学びのスタイルです。子どもたちが、端末を文具として使いこなしているなどの報告を受けて、うれしく思っております。

教育委員会の組織

教育委員会は、次のような組織になっています。

1 教育総務課 (総務(総括・デジタル)、施設管理)

2 学校教育課 (教育指導、教育振興、青少年指導、教育相談) 教育研究所

3 生涯学習課 (生涯学習、社会教育、公民館) 図書館

4 文化財課 (一般文化財・埋蔵文化財) 歴史資料館

5 学校給食課 (管理担当、都城、山之口、高城、山田、高崎)

6 都城市立美術館

7 都城島津邸

8 小学校38校、中学校19校



児玉 晴 男

(こだま はるお)

都城市教育長



教職員の働き方改革について

教職員の働き方については、長時間残業をする教職員の割合を減らすことを目標に、残業時間の目標を設定しています。1ヶ月に80時間以上の残業をする人を教諭については、教諭全体の3%以下にすること(令和3年度は4%)。教頭については、教頭全体の4%以下にすること(令和3年度は31.6%)。

徐々にですが、確実に進めていきます。一方、「先生方のやりがい」にも注目したいと考えます。

都城の子どもたちへのメッセージ

都城市は「人間力あふれる子どもたち」の育成を目指しています。そのためにも、皆さんが、安全・安心で笑顔が絶えない学校づくりをめざしています。

豊かな自然、ふるさと納税トップクラス、農業産出額日本一、そのような都城を誇りに思い、社会と世界に関心をもち、よりよく生きていけるよう、一日一日を大切に過ごしてください。

精一杯の支援をしていきます。

都城の保護者の皆様へのメッセージ

お子さん方が、「都城に生まれてよかった」と言えるような教育を行ってまいります。

日本の教育は、学制が始まって150年来の大きな転換期を迎えています。そのような中、最先端の教育を誰一人取り残すことなく、提供していきたいと考えています。

また、教育の「不易」な部分として、人と人が織りなして問題を解決していく、協働的な学びを重視してまいります。

加えて、都城はコミュニティ・スクール制度を取り入れて、ちょうど10年になります。地域の中で協働的な学びを交えて、学校が地域のために何ができるのかを追求していきたいと思っています。

保護者の皆様、これまでと同様、ご理解とご協力のほどよろしく願います。

Q 座右の銘は何ですか。

A 「忘己利他(もうこりた)」

※天台宗開祖、最澄大師が「己を忘れて、他を利用するは慈悲の極みなり」という言葉を残されています。

自分のことは後にして、まず、人に喜んでいただくことをするという事です。

Q 愛読書を教えてください。

A 「7つの習慣」です。

最も長く、最も読み返している本です。



Q 尊敬されている人物はどなたですか。

たくさんいます。多くの方に影響を受けました。「歴史上の人物、諸先輩方、市長、同僚、そして出会った子どもたち」です。

Q 子どもの頃の夢は何だったのですか。

自分では、あまり覚えていないのですが、小学校4年生の時に「教師になりたい」と作文に書いています。この作文は私が教師になった後に、当時の担任からいただきました。

Q 休日はどうのように過ごされていますか。

とにかくリフレッシュを心がけています。サウナにも行きますよ。いったん、担いだ荷物を下ろします。

児玉教育長は、一つ一つの質問に大変丁寧に答えてくださいました。終始、ニコニコとされ笑顔の素敵な教育長でした。

お忙しい中、取材に応じていただき感謝いたします。ありがとうございます。





創立150周年 特集

明道小学校

「こどもが主役の150周年イベント」

校長 後藤 世志哉

明道小学校は、江戸時代に、稽古所後の明道館設立から244年。明治5年都城小学校(後の明道小学校)開校より150年が経ち、本年度は150周年の年です。150周年企画委員会の発案により、「子どもが主役・思い作り」を基軸に、一年間、様々なイベントを行います。児童の思い出に残る「周年作り」をする校としていきます。

①明道小学校の宝やフェニックス、歴代校長の顔を描く「お絵描きデー」、②書道家の紫舟さんによる「ラブレタープロジェクト」(3・4年生)、③ユニセフキャラバン・キャンペーンにおける「ユニセフ教室」(5・6年生)、④本校OBの外村史郎監督による映画「算法少女」鑑賞・監督講話、⑤本校OG坂口フミ子さんによる戦争講話、⑥本校OGのアメリカ教員田中由美子先生・アメリカからのオンライン授業、⑦あざざり集会(学習発表会)、⑧本校OGのステレオテニスさんデザインによる「大壁面作成プロジェクト」(塗魂ペイントーズ姫ボラ協力)、⑨塗魂ペイントーズによる正門の再塗装、⑩校歌オルゴールの配付、⑪航空写真撮影、⑫児童写真を宇宙ステーションに送る「こども宇宙プロジェクト」、⑬朔日会による交通教室(1・2年生)、⑭記念誌発行、⑮歴代校長絵画玄関設置、⑯150周年記念式典。

このように、実に多様に児童の思い作りを行い続けています。企画・実施は大変ですが、ある児童曰く「明道っ子で良かった!」この言葉に救われる企画委員会です。

航空写真(人文字)



壁面作成プロジェクト(小学生手形で完成)



山田小学校

山田町は都城市の北西部にあり、北は高崎地区、南は庄内地区、西は夏尾地区、東は志和池地区と堺を接し、山田小学校はその中央部に位置しています。

本校は明治6年、中村小窪の真言宗吉祥寺跡に設立され、明治21年には高等科を付設、明治37年に谷頭小学校、同42年に木之川内、新地、真方、中霧島の各尋常小学校を合併し、現在地に移転されました。小高い土地に設置されているため、山田小学校に通う子どもたちは、「校門の坂」と呼ばれる急な坂道を登下校することになりました。

昭和28年から発行されていた学校文集も、そこから「ボラ道さか道」という名前になったそうです。

昭和9年に中霧島小学校、11年に木之川内小学校の分立、また、昭和22年に学制改革により山田中学校分立、山田村立山田小学校と改称し、現在に至ります。ピーク時の昭和5年の児童数は1618人で、昭和の前半は1000人を超える年もありましたが、その後だんだんと減少し、令和4年度は100人に満たない状況となりました。

それでも、これからも本校が200周年、250周年を迎えられますよう、学校の教育目標「心豊かで、知性に富み、たくましく生きる子どもの育成」の実現に向け、地域と保護者、職員が一体となり、日々教育活動に励んでいきます。

正門



霧島山を望む運動場

梅北小学校

創立150周年によせて

令和4年に、梅北小学校は創立150周年を迎えました。学校の創立記念日は10月16日です。

創立された150年前とは、どのような時代だったのでしょうか。和暦でいうと明治5年、世界遺産の富岡製糸場が創業された年で、5千円札の樋口一葉が生まれた年でもあるそうです。また、長く想像のできない時代ですが、それから現在まで、長い歴史を紡いできた先人(先輩)たちの様々な苦労に対し感謝すると同時に、個人的な話になりますが、本校OBの私が生まれた年が、ちょうど100周年だったことを知り、とても感慨深い思いがしています。

その一方で、コロナ禍にあって、PTAとして150周年を盛大に祝福するような行事の開催ができなかったことにも残念なことです。

しかし、このような状況にあっても、子どもたちは元気に学校に通い、笑顔を見せて様々な学習や活動に取り組んでいます。校庭にそびえるけやきの大木のように、今後も200周年、300周年と未来永劫、梅北の地に子どもたちの笑顔があふれるよう、先生方や保護者、地域の皆様方が協力して梅北小学校を盛り上げ発展できるようにしていくことが大切だと考えます。

- ⑦:元気のある子
- ⑧:やる気のある子
- ⑨:心やさしい子
- ⑩:きまりを守る子

これからも梅北小学校の伝統を守り、健やかな子どもたちの成長を願ってみんな力を合わせて進んでいきたいと思ひます。皆様のご協力ご支援をよろしくお願いいたします。



150周年横断幕



安久節(運動会)

PTA会長 海田 大介

安久小学校

安久小学校は、全校児童286名の学校です。明治6年2月に創立し、今年で150周年を迎えます。創立150周年記念事業に向けて、地域の有志の方、PTA役員、各地区の常任委員長、学校管理職で構成した実行委員会が中心となって計画を進めています。

事業内容は、次の通りです。

○記念式典(2月26日実施)

○記念誌の発行

○校門前学校看板の一新(150周年記念の文字)

○記念事業「グラウンドの整備」「図書の本の寄贈」

○記念品「クリアファイル」

記念事業につきましては、保護者に希望調査を行い、要望が多かったものに決定しました。特に、グラウンド整備に係る保護者の期待は大きく、今回の事業で、子どもたちが安心して運動のできる環境づくりが実現できるのではないかと思います。もちろん、大きな費用が伴いますので、実行委員会が全力を挙げて、協賛の支援申請に取り組んでいるところです。

また、記念誌に掲載する写真の一つとして、子どもたちによる人文字撮影をドローンを使って行いました。150という文字を子どもたちが形作ることで、新たな思い出の1ページを作ることができました。

このような事業を通して、これまでの安久小学校の歴史を振り返り、新たな未来を切り開いていく子どもたちの希望ある未来の実現につなげていきたいと思っています。

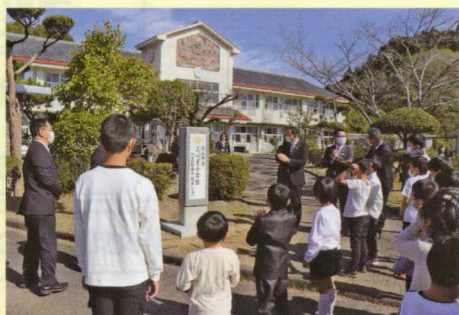
記念式典の様子



記念事業(運動場の整備)



高崎麓小学校



記念碑



記念式典の様子
(俵踊り)

本校は、明治5年9月28日に平川民五郎氏が所有する寺子屋を前田に移し、それを学校と認可され創立されました。創立時は児童数20名でしたが、児童数500名を超えた時もありました。150年の間には、校舎の全焼や水害など様々な災害にも見舞われましたが、保護者や地域の方々、児童や教職員の協力のもと、それを乗り越えて150年の伝統を築きあげてきました。

コロナ禍でしたが、150周年記念式典には、公民館長をはじめ、歴代PTA会長など地域のたくさんの方々に来ていただきました。高崎麓小学校の150周年記念式典のテーマは「児童がつくる歴史と伝統を感じる」ことのできる式典です。そこで、オープニングセレモニーでは、谷川地区に伝わっている伝統芸能でもある「俵踊り」を全校児童で踊りました。児童たちは元気よくかけ声をかけながら堂々と踊ることができました。そして、実行委員長・校長の挨拶の後、来賓を代表して池田宜永市長から祝辞をいただきました。その後、5・6年生による高崎麓小学校の歴史をテーマにした発表や、全校児童で「ふるさと」の合奏・合唱をしました。式典後には現在在校している児童19名が一文書ずつ書いた記念碑の除幕式も行い、たくさんの方に参加していただき、思い出に残る式典となりました。

児童は、これからも高崎麓小学校の歴史と伝統を誇りに頑張っていこうと気持ちを新たにしました。

本年度、紹介した学校の他にも150周年を迎えた学校がありました。

都城市立沖水小学校は昨年度150周年を迎えました。

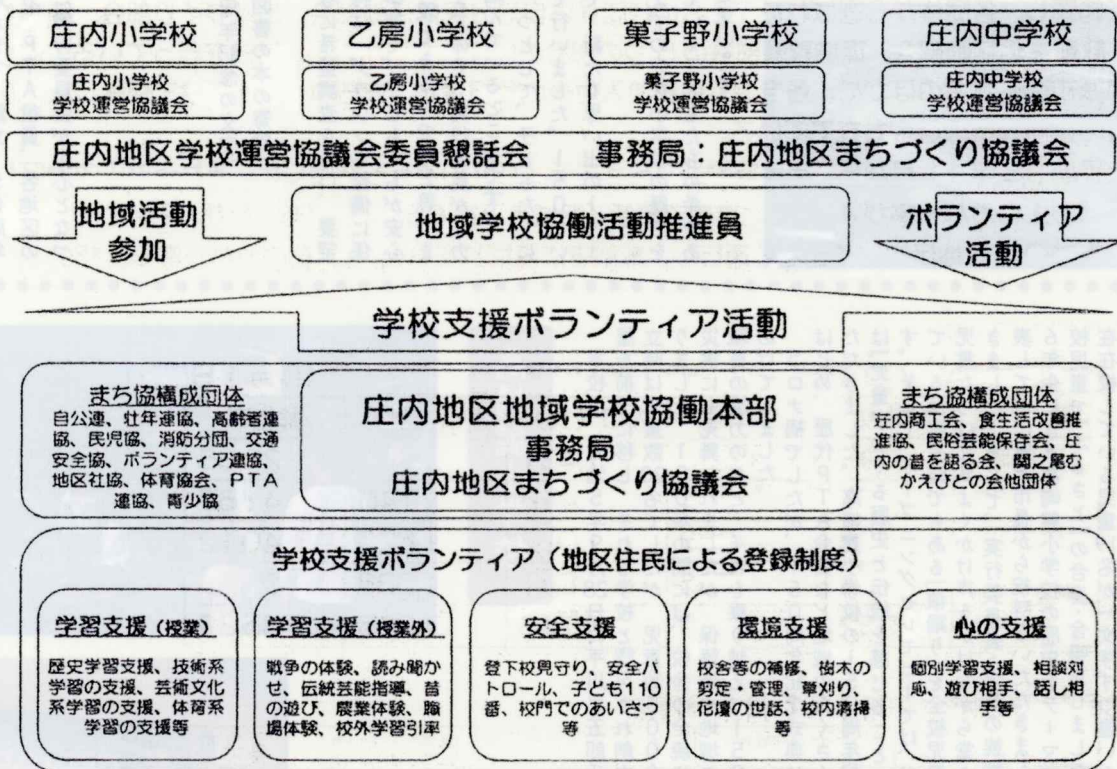
おめでとうございます。



拡大理事会報告 【庄内地区PTA】

庄内地区PTAは、庄内地区まちづくり協議会との連携を密しながら活動している。
ここでは、その組織の一部を紹介する。

庄内地区地域学校協働活動体制図



令和3年度庄内地区学校支援地域本部でコーディネートした事例

日 付	支援内容	人 数	支援者
令和3年6月21日	菓子野小4年生校外学習 (17名)	4名支援	関之尾むかえびとの会 庄内の昔を語る会
令和3年6月29日	乙房小4年生校外学習 (30名)	4名支援	関之尾むかえびとの会 庄内の昔を語る会
令和3年8月3日	庄内地区小中学校教職員校区内 巡見研修(24名)	5名支援	都城島津邸 関之尾むかえびとの会 庄内の昔を語る会
令和3年10月15日	庄内小5年生関之尾遠足 (30名)	3名支援	関之尾むかえびとの会
令和3年11月19日	庄内中1年生地域巡見学習 (78名)	5名支援	都城島津邸 関之尾むかえびとの会 庄内の昔を語る会
令和3年12月3日	庄内小6年生キャリア教育支援 (31名)	4名支援	保育士・保健師・消防士・介護福祉士
令和4年1月14日	庄内中3年高校受験面接練習	4名支援	地区住民

拡大理事会報告【志和池地区PTA】

[3校(志和池中・志和池小・丸野小)合同PTA連絡協議会の活動]

- 1 3校綱引き大会 (懇親を深める目的で行ってきたがチーム編成の難しい地区も出てきた為、平成30年度で実施を終了)
- 2 日本PTA九州ブロック研究大会への参加 (令和2年度から、各学校1名参加)
- 3 地域行事への協力 (科長神社六月灯での巡回)

志和池小学校・丸野小学校PTA活動の紹介

研修部・教養部

○PTA新聞の作成・発行

○学校行事等での写真撮影

保体部

○PTAミニバレー大会の計画・実施

○運動会への協力

事業部

○奉仕作業の計画・実施

生活安全部・生活指導部

○巡回指導への協力

○校区内危険箇所の点検

○心肺蘇生法講習の計画・実施

学年部

○学年・学級レクリエーションの計画・実施

有志による学校貢献

○きばっみろ会(志和池小)

○おやじの会(丸野小)

家庭教育学級

○親子ものの作り

○健康体験

○人権教育研修

読み聞かせへの参加

○地域の読み聞かせ活動への参加

地域組織との連携

○まちづくり協議会の組織への参加と協力

○まちづくり協議会の行事への積極的参加

地域と共に子どもを見守り育てるという思いのもと、コロナ禍の中で自分たちにできることは何かを模索しながら活動を進めている。

コロナが終息し、様々な活動が再開できることを願うとともに、コロナ禍でも可能な、新たな活動を考えていきたいと思っている。

志和池中学校PTA活動の紹介

コロナ禍で修学旅行が中止になり、がっかりしている子どもたちに「世の中捨てたもんじゃないよ。コロナのピンチも工夫一つで楽しくなるよ。くだらないことを一生懸命楽しむ大人の姿を見て悲しい状況を少しでも良い思い出に。」というメッセージを伝えたくて、修学旅行に代わる思い出作りを計画しました。

結局、諸事情で実現することはできませんでしたが、次のような計画を立てていたことを紹介します。

「修学旅行に代わる思い出」計画案

1	時 期	夏休みの夜
2	場 所	志和池中学校
3	内 容	
	(1)	水鉄砲合戦 [コンセプト ストレス解消] 思いっきり濡れてもらいます! 水鉄砲→高水圧洗浄機→消防ポンプ車
	(2)	映画鑑賞「ドリーム」上映 [コンセプト 時間かせぎ] 水鉄砲合戦の片付け・肝だめしの準備・食事(軽食)の準備
	(3)	肝だめし[メインイベント] ケガをさせない(脅かす演出NG) 大声を出させない(ゾッとさせる演出) 装飾はしない(お金をかけない) 食事<軽食>をかねる(行政のルールを守る)
	(4)	○×クイズ [コンセプト 遊び心] 映画鑑賞や肝だめしの中からクイズを出題。 正解する・しないではなく、みんなに参加賞を。

事業報告

中止となった事業

総会

5月21日(土)
書面決議

広報担当者講習会

5月22日(日)
(テキスト希望の学校へ手引きを送付いたしました。)

女性会員研修会

9月3日(土)
(表彰を受けた方には後日、表彰状を送付いたしました。)



学年・学級委員長研修会

令和4年6月18日(土)中央公民館において、学年・学級委員長研修会が開かれ小学校37名、中学校26名の役員が参加しました。はじめに、「学年・学級PTA活動の充実を目指して」と題して、社会教育指導員の横田浩氏に講話をしていただきました。分散会では、小学校下学年(1〜3年)、上学年(4〜6年)、中学校に分かれて、コロナ禍における学年・学級PTA行事や、会議の在り方、役員の選出方法などそれぞれの学校が抱えている問題について協議しました。他の学校の現在の状況を聞くことができ、共通の問題を抱えていることがわかりました。今後の活動の参考となる意見のあった研修会でした。



分散会(中学校)



全体会(講話)



分散会(小学校)

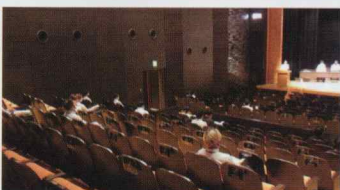
PTA会長研修会

令和4年8月5日(金)交流プラザ(ムジカホール)にてPTA会長研修会が市内小中学校のPTA会長50名が参加して行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながらの研修会でした。

開会行事の後、日南市立大堂津小学校前PTA会長守山清氏を講師に迎えて、「コロナ禍におけるPTA活動の充実」と題してご講演いただきました。PTA活動の工夫として、参観日での検温サポート・運動会での観戦区画の工夫・納涼祭中止の際の工夫などを話してくださいました。

また今後のPTA活動の工夫・改善として、人材育成・学校運営協議会とPTAの連携強化・コロナ禍におけるPTA活動の在り方について、PTA会長として活動した経験をもとに分かりやすく話してくださいました。

今後、各学校のPTA活動に活かせる話が聞けた研修会でした。



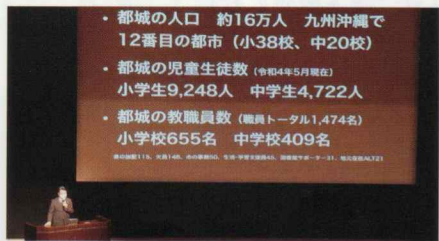
教育懇談会

令和4年11月18日(金)に、「これからの学校教育とPTA活動の在り方」をテーマに懇談会が開催されました。各学校のPTA会長と、校長先生約100名が参加し、教育懇談会が都城総合文化ホール(中ホール)で開催されました。

児玉晴男教育長から「これからの都城の教育について」と題して講話をしていただきました。清水かな子教育総務課長より、「小中学校の建設事業や維持管理に係る経費について」、「ICTタグ利用登下校見守りシステム「ツイタもん」について」、山内昭弘学校教育課長より、「学習支援ソフト導入事業について」説明していただきました。



開会行事



児玉晴男教育長 講話



教育総務課による説明



学校教育課による説明



会場内の様子

第64回宮崎県PTA研究大会

日向市・東臼杵郡大会

(日向市 文化交流センター)

令和4年12月3日(土)に第64回宮崎県PTA研究大会 日向市・東臼杵郡大会が日向市で開催されました。昨年度はオンラインで行われましたが、本年度は県内の小中学校PTA会員約500名が集まった開催となりました。

開会行事前のアトラクションでは、うなまエイサー琉星會の披露がありました。開会行事では宮崎県PTA連合会岡本会長より「会員一人一人がPTAの一員であるという当事者意識をもち、子どもたちの健やかな成長・笑顔のために、今後ともW・I・T・H・C・O・R・N・Aの時代に即応した活動を組織的に推進して参りましょう。」と挨拶されました。その後、日向市立財光寺中学校PTAと、三股町立梶山小学校PTAの研究発表が行われました。

講演会では、元テレビ宮崎アナウンサーの高橋巨典氏から「変えましょう! 変わります! 自分が変われば全てが変わります」と題し、局アナを辞めて、宮崎を離れて得たものは、変わることの大切さでしたとの話をいただきました。



開会行事



三股町立 梶山小学校による研究発表

第67回

日本PTA九州ブロック研究大会

おきなわ大会

大会スローガン

ひろげ・つなぐ・未来へのリレー

結のこころで

令和4年12月17日(土)～18日(日)に第67回日本PTA九州ブロック研究大会が、九州各地から約3700名の会員が参加し沖縄県で開催されました。

12月17日は、沖縄県内、6箇所の分科会会場のうち、都城からは3箇所の会場に分かれて参加しました。12月18日は沖縄アリーナで、沖縄県知事をはじめ沢山の来賓を招いて全体会が行われました。開会行事に先立ち、沖縄市内のダンススクールに通う子どもたちの元気なダンス、そして沖縄の伝統エイサーの披露がありました。開会行事では、PTA活動に尽力のあった団体・個人の表彰があり多くの方が受賞されました。

その後、沖縄出身のガレッジセール・ゴリ氏による「ガレッジセール・ゴリと考える、『子育て』とは?」と題して記念講演が行われ、自身の生い立ち、そして現在、2人のお子様の父親として、自身の子育てを笑いながら、時には涙を流し、一生懸命話してくださいました。時間が過ぎるのが早く感じた、とても楽しい記念講演でした。



都城PTA連絡協議会 参加分科会



特別分科会の様子(シンポジウム「命」)



オープニングアトラクション(エイサー)

第62回

都城市PTA研究大会

令和4年度第62回都城市PTA研究大会が、令和5年1月21日(土)に交流プラザ・ムジカホールで開催されました。

コロナ禍の中、PTA会員約150名が参加し、大盛会でした。開会に先立ち、東小学校合唱部が素晴らしい合唱を4曲披露してくれました。(合唱の様子は表紙に掲載)

開会行事ではPTA活動に尽力された個人21名の表彰が行われ、富吉小学校の南伸也PTA会長が代表で謝辞を述べました。また、市議会議長、教育長より祝辞をいただきました。

研修会では安久小学校PTAと高城中学校PTAの研究発表が行われました。その後、令和3年度から講演の依頼をしていた、LGBTのべおか親子の会会長 太田由美子氏による「娘によりそって」という演題で講演いただきました。二男から四女となったさくらさんについて、幼少期、小学校時代から現在に至るまでの苦悩、親としての苦悩、そして、最後には理解あるパートナーに巡り逢えた事を短い時間ではありましたが話してくださいました。LGBTについての理解を深められるとても良い機会となった講演でした。



研究発表 安久小学校



研究発表 高城中学校



講師 太田 由美子氏



代表謝辞

令和5年度 予定

★総会 5月20日(土) ◎会場 MJホール

★広報担当者講習会 5月27日(土) ◎会場 中央公民館

新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止または規模を縮小しての開催となる場合があります。ご了承下さい。また、会場につきましては予定です。変更の場合もあります。

表彰おめでとうございます

宮崎県PTA連合会 表彰

団体

都城市立安久小学校
都城市立高城中学校

個人

橋詰和弘様(都城泉ヶ丘附属中学校)

お気軽に ご相談ください

PTA活動でお困りの事、相談したいことなどありましたら、事務局までご連絡ください。

事務局

電話 0986-24-5312
FAX 0986-24-2812
(月・水・金 10時～17時)

E-mail mmpta@bz.03.plala.or.jp



令和5年度事業につきましては、新型コロナの感染状況により中止、規模を縮小しての開催となる場合もあります。その場合は学校を通してお知らせいたします。

編集後記

小学5年生の息子に、「春になったらマスクしなくていいらしいよ」と伝えたところ、「うーん、外したくないかも」とのこと。この3年間のマスク生活にすっかり慣れてしまっているようです。最近の写真はマスクのせいで表情が隠れているものが多いので、安心して外せる日が一日も早く来てくれるといいなと思います。

長引く新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵略など暗いニュースが続いていますが、子どもたちにも楽しい未来が訪れるように、無邪気な笑顔があふれるように、学校・保護者・地域が協働して、希望や願いを繋いでいきたいと思います。

本年度、広報紙「つなぐ」の編集に携わらせていただきました。市PTAの活動を通じて、多くの方々と出会い、たくさんの方の気づきと学びを得ました。貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

副編集委員長 藪本 葵

編集委員

赤池 智和 吉永 健一
溝添 友貴 田中 直貴
堤 清剛 宮島 大介
花田 智靖 渡辺 君介
中澤 アンナ 野口 勇心
丸水 沙知 高開 坂 聡
原 賢樹 留 賢樹

事務局

岩崎 元子
池田 絹子